

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市港湾振興会館	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 公益社団法人 川崎港振興協会 代表者 齋藤 文夫 株式会社京急アドエンタープライズ 代表者 岩田 圭祐 ・住所 川崎市川崎区東扇島38-1	評価者	港湾管理担当課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	港湾局川崎港管理センター港湾管理課

2. 事業実績

利用実績	会館利用者 401,878人(前年度402,179人) 展望室利用者 82,824人(前年度78,034人) 会議室・研修室利用件数 1,738件(前年度1,743件) 体育室専用利用件数 585件(前年度469件) 体育室個人利用者 2,197人(前年度1,513人) テニスコート利用者 28,312人(前年度35,445人) テニスコート利用時間 13,221時間(前年度11,800時間) ビーチバレー場利用者 24,803人(前年度27,052人) ビーチバレー場利用時間 5,342時間(前年度4,082時間)
収支実績	収入額 215,284,285円(前年度213,483,660円) {内訳 指定管理事業収入143,594,000円(前年度143,813,000円) 会館事業収入71,690,285円(前年度69,670,660円)} 支出額 198,084,589円(前年度204,605,514円){内訳 人件費39,197,178円(前年度39,385,128円) 物件費 158,887,411円(前年度165,220,386円)}
サービス向上の取組	・スポーツ教室(ビーチバレー、バドミントン、テニス)を引き続き開催し、利用者の促進の取組み。 ・リフレッシュマップ(ウォーキング、ランニング、サイクリング等)を作成。 ・環境配慮した企業事業の協力。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	10	3	6
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) ・平成26年度に日本夜景遺産に登録され、市民広報を行い観光利用客や夜景写真を撮りに来る利用者が増えている。また、展望室の無料化を引き続き行い好評を得ている。 ・スポーツ教室(ニュースポーツ)、ビーチバレーコートを利用したスポーツ教室は、昨年度から好評であり今年度においても、好評を得ており参加者も増加している。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ・委託業者との会議の場を設け意見等の共通認識を行い課題把握と改善策の実施を行った。 ・リフレッシュコース看板を作成し、市民及び港湾関係者が散歩など行えるようリフレッシュの場として利用者促進を図った。					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・事業関係経費の委託費において、入札の実施による経費削減を行った。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	3	3	1.8
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	5	3	
(評価の理由) ・全テナント参加の消防訓練を実施し、火災発生時などの速やかな避難、消火等への備えに取り組んだ。 ・指定管理者内による管理運営自己点検評価を行い、各委託業者との意見等の共通認識を行い利用者満足や成果に結びつける運営を行った。 ・水素事業としての取組みや環境に配慮し計画的にLED照明の切り替えを行った。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	14	4	11.2
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) ・耐用年数が過ぎている設備が多い中で、不具合の発生に迅速に対応するとともに、日々のメンテナンスに努め、大きな事故等は無かった。					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・東芝が行う水素の実証実験による太陽光と水素を使った自立型エネルギー供給システム(H2One)をマリエンに設置するにあたり、積極的な協力と施設による巡回警備など柔軟な対応を行った。
- ・JXの移動式水素ステーションの事業を行うにあたり、JXと振興協会と協定書を結び東扇島で初の移動式水素ステーションとしての環境に配慮した事業を行った。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・27年度においては、ビーチバレー場・テニスコートの利用時間においては増加していたが、利用人数の減少が多かったため、28年度については利用者の促進が求められる。